

☆☆

☆ てつがく

☆ コード1 : 0704 ファイル : f 版 : *% 区分数 : 02

☆ 表記 : 哲学

☆☆

[慣用句等]

のような

のように

慣用表現

他合成語 1

他合成語 2

備考 <関> 01…> 02。

[区分 01 / 02]

表記 哲(てつ)学(がく)

意味記述 世界の在り方や人間の本質について探究する学問。

意味索性 1 F L D

用例 1 大学で哲学を専攻する。

連体文例 この書物は哲学の歴史をまとめたものです。

被連体例 古代ギリシャの哲学, カントの哲学, 実証主義の哲学。

被連体文例

S 文例

S 卜文例

副文例

サ変文例

述 1 文例

述 2 文例 1

述 2 文例 2

述 2 文例 3

述 2 文例 4

異音同語

参照語

[区分 02 / 02]

表記 哲(てつ)学(がく)

意味記述 自らの行動や思考の基本となる、根本的な考え方。

意味索性 1 N O R

用例 1 自分の哲学に従う。

意味索性 2 I N F

用例 2 自身の哲学を語る。
意味素性 3 A B S
用例 3 留学中に自分なりの哲学を身に築いた。
連体文例 彼との意見の対立はお互いの哲学の差からきているものでしょう。
被連体例 社長の哲学, 我慢の哲学, 経験重視の哲学。

被連体文例

S 文例

Sト文例 [経験科学的な研究は仮説を立てることから始まるという] 哲学が彼の学問の全体に浸透している。

副文例

サ変文例

述 1 文例

述 2 文例 1

述 2 文例 2

述 2 文例 3

述 2 文例 4

異音同語

参照語

* てつがく

* 区分番号 : 0 1 / 0 2 素性数 : 1

* 表記 : 哲 (てつ) 学 (がく)

* 意味記述 : 世界の在り方や人間の本質について探究する学問。

* 意味素性 1 : F L D 用例 1 : 大学で哲学を専攻する。

* 連体文例 : この書物は哲学の歴史をまとめたものです。

[意味情報 1 / 1]

素性 F L D

関連 | 同義

関連 | 類義

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 1 / 1]

動詞 | ガ

動詞 | ヲ ガ | ★ | ヲ | 専攻する, 学ぶ。

ガ, (大学)デ | ★ | ヲ | 教える。

動詞 | ニ

動詞 | 他

動詞 | 副ニ

形容 | ガ | ★ | ガ | 難しい, 易しい。

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副ニ

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[連体用法]

NPOノ -の授業, -の著作, -の分野, -の歴史, -の現在, -の核心, -の危機, -の基礎, -の興隆, -の形成, -の継受, -の見地, -の原点, -の次元, -の出発点, -の本質, -の問い, -の主要部分。

NPOナ ×

NPOノ／ナ ×

連体文例 この書物は哲学の歴史をまとめたものです。

[連体被修飾用法 1]

ノNPO <環境> 古代ギリシャの-。

<場所> 西洋の-。

<主体> プラトンの-, カントの-。

<種類> 実証主義の-。

<時間> [T I M] 18世紀の-。

ノNPO補

～ノNPO

他NPO

被連体文例

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 てつがく

要素表記 哲(てつ)学(がく)

補足

合成 | 名前 -者, -士, -化, -性, -的, -風, -書, -史, -科, -界, -作品, -博士, -用語, -理論, -上

合成 | 名後 中世-, 現代-, ギリシア-, 中国-, インド-, ドイツ-, ストア-, スコラ-, アリストテレス-, オルテガー-, 教育-, 第一-, 同一-, 文化-, 宗教-, 科学-, 先験-, 批判-, 歴史-, 分析-, 経験-, 行動-, 常識-, 実践-, 理論-, 自然-, 実存-, 価値-, 六派-, 教父-, 思弁-, 数理-

合成 | 形

合成 | 動

合成 | 副 -上

合成 | 他

* てつがく

* 区分番号 : 0 2 / 0 2 素性数 : 3

* 表記 : 哲 (てつ) 学 (がく)

* 意味記述 : 自らの行動や思考の基本となる、根本的な考え方。

* 意味素性 1 : N O R 用例 1 : 自分の哲学に従う。

* 意味素性 2 : I N F 用例 2 : 自分の哲学を語る。

* 意味素性 3 : A B S 用例 3 : 留学中に自分なりの哲学を身に築いた。

* 連体文例 : 彼との意見の対立はお互いの哲学の差からきているものでしょう。

* Sト文例 : [経験科学的な研究は仮説を立てることから始まるという] 哲学が彼の学問の全体に浸透

* している。

[意味情報 1 / 3]

素性 N O R

関連 | 同義

関連 | 類義 信念, 考え

関連 | 対 1

関連 | 対 2

関連 | 対 3

関連 | 対 4

助数詞

[項の用法 1 / 3]

動詞 | ガ ニ | (自分の / 彼女なりの / …) ★ | ガ | ある, ない。

動詞 | ヲ

動詞 | ニ ガ | (自分の / …) ★ | ニ | 従う。

動詞 | 他 ガ, ヲ | (我慢の / …) ★ | デ | 行う。

動詞 | 副ニ

形容 | ガ

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副ニ

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[意味情報 2 / 3]

素性 I N F

関連 | 同義

関連 | 類義 信念, 考え, 思想

関連 | 対1

関連 | 対2

関連 | 対3

関連 | 対4

助数詞

[項の用法 2 / 3]

動詞 | ガ

動詞 | ヲ ガ | (リーダーの / 自分の / …) ★ | ヲ | 語る, 話す。

ガ, ニ | (ビジネス / 自分の / …) ★ | ヲ | 伝える。

動詞 | ニ

動詞 | 他

動詞 | 副二

形容 | ガ | (経営 / 彼の / …) ★ | ガ | 難しい。

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副二

名詞 | ガ | (彼女の / …) ★ | ガ | 難解だ, 単純だ, 個人主義だ。

名詞 | ニ

名詞 | 他

[意味情報 3 / 3]

素性 A B S

関連 | 同義

関連 | 類義 信念, 考え, 思想

関連 | 対1

関連 | 対2

関連 | 対3

関連 | 対4

助数詞

[項の用法 3 / 3]

動詞 | ガ

動詞 | ヲ ガ | (自分なりの / …) ★ | ヲ | もつ, 築く。

動詞 | ニ

動詞 | 他

動詞 | 副二

形容 | ガ

形容 | ニ

形容 | 他

形容 | 副ニ

名詞 | ガ

名詞 | ニ

名詞 | 他

[連体用法]

NPOノ ーの差。

NPOナ ×

NPOノ／ナ ×

連体文例 彼との意見の対立はお互いの哲学の差からきているものでしょう。

[連体被修飾用法 1]

ノNPO <範疇> 経営上のー。

<主体> [HUM | ORG] 社長のー, 西側同盟のー。

<内容> 経験重視のー。

<関係事象> 植物愛護のー, 環境保全のー。

<具体化> 我慢のー。

<性質> 彼なりのー。

ノNPO補

～ノNPO

他NPO

被連体文例

[連体被修飾用法 2]

S平叙

S文例

Sト平叙 ～る

Sト疑問

Sト文例 [経験科学的な研究は仮説を立てることから始まるという] 哲学が彼の学問の全体に浸透している。

彼は [科学の進歩と民主的な社会は不可分であるという] 哲学を披瀝した。

その編集者は、[碩学に対しても無名の若手に対しても同じように {接する／接するべし／接しなければならない} という] 哲学を実践し続けた。

その作家は [滅びゆくものほど美しいという] 哲学を作品に結晶させた。

国王は [土の恵みは土に返せという] 哲学のもとに、砂漠の緑化事業に莫大な資金を投じた。

副平叙

副文例

備考 [Sという] 中には叙法表現 (「べき」、「なければならぬ」、命令形) があらわれることがある。[Sという] 中には形容詞述語文、名詞述語文があらわれることがある。「との」可。「とする」可。

[形態情報 1 / 1]

合成語要素 てつがく

要素表記 哲 (てつ) 学 (がく)

補足

合成 | 名前

合成 | 名後 経営-, 人生-, 軍縮-, 政治-, 女性-, 結婚-

合成 | 形

合成 | 動 -する

合成 | 副

合成 | 他